

上小阿仁村商工会

地域密着、事業者に親身で身近な商工会

重点推進 施策

- 1 事業承継の巡回調査及び承継計画策定・次代経営者育成支援
- 2 持続的な発展を目的とした個社支援の徹底
- 3 行政と連携した森林資源活用による事業の促進
- 4 中長期財政運営計画の策定

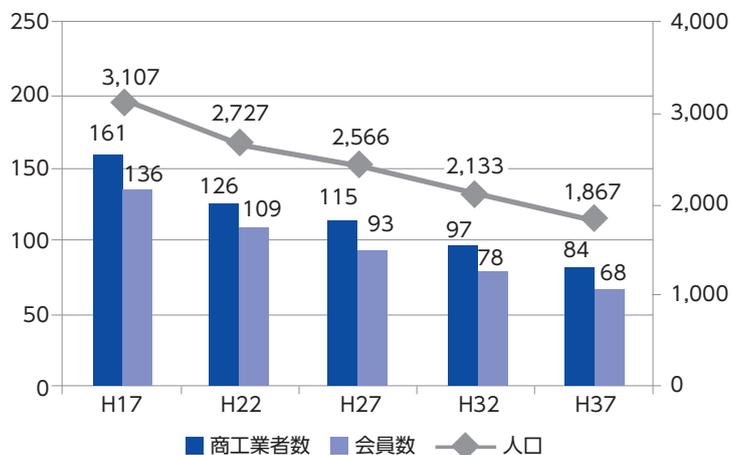
●推進にあたっての基本的な考え方

上小阿仁村は人口減少が著しく、高齢化も上昇の一途を辿っており、人口減少率や高齢化率に歯止めがかからない状況が続いています。このように地域の活力が低下する中、現代アートをキーワードに地域住民と協働で村づくりを行い、地域の魅力を発信し交流人口の拡大、地域活性化を図っていくことを目的とした大地の芸術祭「KAMIKOANIプロジェクト」が実施されるなど、村の生き残りをかけた取組が行われています。さらには、商工業者の高齢化や後継者問題、地域コミュニティとしての役割や買い物弱者支援の観点からも、事業承継問題を最重要課題として位置付け、その対策にも力を入れています。

そのような中、上小阿仁村商工会では、小規模商工会ならではの事業者に寄り添った個社支援を行ってきましたが、これからは行政と一体となった取組や近隣商工会との広域連携により商工会の支援力を高め、今まで以上に事業者の経営課題を的確に捉えた個社支援を行っていく必要があります。そこで、本商工会では、喫緊の課題である事業承継において、巡回による実態調査を実施し、その結果をデータベース化することで、事業者にあった支援を行っていくなど実効性の高い取組を展開します。また、「山林の100年整備計画」を策定する行政やその関係機関と連携しながら、森林資源を活用した取組を行う事業者への個社支援を強化するとともに、新たな事業者の創出や関連事業者における雇用促進を図っていきます。

また、これらの施策を着実に実行していくため、中長期財政運営計画を策定し、健全な商工会運営の下、環境変化に左右されない安定的な商工会活動を行います。

上小阿仁村人口、商工業者
会員数の減少率推移及び10年後予測 (人)



上小阿仁村商工会アクションプログラムの構成

戦略1 育て・挑戦を支える商工会

- 施策1 事業承継の巡回調査及び承継計画策定・次代経営者育成支援【重点推進施策】

 - 事業者の事業継続意思等を巡回により徹底した調査を行い、事業承継支援対象者を明確にするとともに、確かな事業承継計画策定及び次代経営者育成支援を実施します。
- 施策2 持続的な発展を目的とした個社支援の徹底【重点推進施策】

 - 小規模商工会ならではの事業者に寄り添った伴走型個社支援を行い、各事業者の経営に対する悩みについて改善提案等のサポートを多角的に行います。
- 施策3 関係機関との連携による個社支援力の向上

 - 専門的な課題については事業者の経営状況を把握した上で、近隣商工会、専門家及び関係機関とのネットワークを活かした、より実効性のある課題解決に向けた支援を行います。

戦略2 プロ集団の商工会

- 施策4 職員の資質向上及び情報共有整備の実施

 - 県連合会等が主催する研修へ積極的に参加し、研修内容についてはグループウェアを活用して職場内で共有を図れるよう整備を行います。また、職場内ではOJTを中心とした育成により、マルチな個社支援スキルの向上、キャリアごとに必要とされる職務遂行能力を強化します。

戦略3 事業者が主役の商工会

- 施策5 事業者の声の収集、活用

 - 事業者からの声が届く商工会活動を徹底します。
- 施策6 青年部・女性部の中期活動方針の検討及び広域連携の模索

 - 青年部・女性部が将来にかけて主体的に活動できるよう今後の方針を検討し、広域連携活動の可能性についても検討します。

戦略4 機動的・効率的な商工会

- 施策7 行政と連携した森林資源活用による事業の促進【重点推進施策】

 - 村による「山林の100年整備計画」とタイアップし、林業経営希望者を対象とした森林カレッジスクール等の森林資源活用事業を行い、林業に関わる事業者の創出や雇用促進を行います。また、農林産物を活用した特産品振興については、現在行っている支援の形として開発された商品の販路拡大支援を行います。

戦略5 環境変化に強い商工会

- 施策8 中長期財政運営計画の策定【重点推進施策】

 - 将来を見据えた安定的な商工会活動を展開するため、事業内容を検討し中長期財政運営計画を策定します。

戦略1 育て・挑戦を支える商工会

1 取組内容

■施策1 事業承継の巡回調査及び承継計画策定・次代経営者育成支援【重点推進施策】

各会員の事業継続意思等を巡回により調査を行い、データベース化して事業承継支援対象者の緊急度に応じたランク表を作成し、これをもとに順次事業承継計画の策定支援を行います。また、この事業承継計画の策定に当たっては、県連合会、秋田県事業引継ぎ支援センター等の関係機関と連携を密にしながら、事業承継支援に取り組みます。

【主な取組】

- ◆事業者の事業継続意思調査
- ◆事業者の事業継続意思のデータベース(集約)からランク分け
- ◆事業承継計画の作成及び次代経営者の育成(秋田県事業引継ぎ支援センター等との連携)

■施策2 持続的な発展を目的とした個社支援の徹底【重点推進施策】

個社支援の一環となる記帳継続指導について、ネットde記帳の促進強化を行い、システム活用を通じて多角的な視点での財務分析により、経営改善や金融指導の基礎となる資料を利用者へ提供し、経営改善提案及び事業承継を見据えた知的資産経営実践の支援を行います。

また、「受け身の経営から攻めの経営」へのシフトを促すため、積極的なインターネット販売に向けたホームページ作成支援や事業者を売り込むための支援を行います。

【主な取組】

- ◆ネットde記帳を活用した攻めの「財務会計活用型」の推進
- ◆インターネット販売を見据えたホームページ作成、事業者の情報発信スキル向上支援

■施策3 関係機関との連携による個社支援力の向上

事業者からの相談の中には、高度で複雑化したものまで多岐にわたり職員の知識のみでは解決できないものもあります。このような課題に対しては、県連合会北部支援センターとの連携を密にし、相談内容に即した専門家派遣や関係機関への橋渡しを行い、より実効性のある経営支援を行います。

【主な取組】

- ◆巡回による課題抽出と、専門家派遣事業を通じての個社支援力向上
- ◆関係機関との連携

2 工程表

	(1)事業承継事業	(2)個社支援	(3)関係機関との連携
事 前	▽聞き取り項目の検討	▽ネットde記帳促進事業者選定	▽専門家の必要な会員の選定
H29年度	▽事業継続意思調査 ▽集約・データベース化	▽記帳指導 ▽情報発信スキル向上講習会	▽専門家派遣 ▽関係機関との連携強化
H30年度	▽事業承継計画策定・育成	▽経営改善提案・HP作成支援	
H31年度	↓	↓	↓
H32年度			
H33年度			

3 評価指標

事業承継計画策定事業者数、事業者に対する巡回件数の中の解決提案・実行支援率、ネットde記帳新規獲得件数により評価。

項 目	現状値	目 標 値				
	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
1.事業承継計画策定企業数	—	3件	5件	5件	5件	5件
2.解決提案・実行支援巡回件数	—	84件	156件	200件	216件	240件
3.ネットde記帳新規獲得件数	—	1件	1件	1件	1件	1件

III



県北地区商工会おもてなしまつり2014

戦略2 プロ集団の商工会

1 取組内容

■ 施策4 職員の資質向上及び情報共有整備の実施

経営改善普及事業を効果的に実施するため、必要な知識の習得に向けて、県連合会の成長プランを活用するほか、情熱と主体性を持ち、業務を遂行できる職員育成に取り組むため、近隣商工会との広域研修体系導入に向けた検討を行います。少ない職員でも個社支援にマルチに対応できるよう、職員の意識改革にも取り組みます。

【主な取組】

- ◆ 県連合会その他関係機関開催の研修会への積極的参加
- ◆ 広域連携OJTの検討と実施

2 工程表

	研修会への参加
事 前	▽資質向上に向けた研修会の選定、広域連携OJT内容検討
H29年度	▽研修会への参加、広域連携OJT内容検討及び開催
H30年度	↓
H31年度	
H32年度	
H33年度	

3 評価指標

研修活用事例提案数、広域連携OJT開催数により評価。

項 目	現状値	目 標 値				
	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
1.研修活用による課題解決数	1件	2件	2件	3件	3件	4件
2.広域連携OJTによる課題解決数	—	1件	2件	2件	3件	3件

戦略3 事業者が主役の商工会

1 取組内容

■施策5 事業者の声の収集、活用

年3回行っている会員事業者を対象とした要望収集による意見集約をもとに、今後の商工会事業に役立てていきます。会員事業者の声をもとに地域にとって必要とされる商工会として活動していきます。

【主な取組】

◆巡回による事業者の声の収集及びデータベース化と商工会事業への反映

■施策6 青年部・女性部の中期活動方針の検討及び広域連携の模索

村唯一の総合経済団体である本商工会は、その強みとなる（異業種組織の）青年部・女性部の活動でこれまで地域活性化の一役を担ってきましたが、部員数は減少傾向にあります。青年部・女性部はこれまで部員増強運動等により、組織として維持しているものの、事業や地域活動については限定的となっているのが現状です。今後、青年部・女性部が主体となり経営力強化及び地域活性化を目的とした活動を続けるためには、事業の抜本の見直し及び再構築が必要になります。そのため会議を活性化し、実情に即した中期活動方針の検討を行います。また、近隣商工会と連携の可能性を模索し、自社の経営発達及び効果的な地域振興に寄与できる事業の精査を行います。

【主な取組】

◆青年部・女性部事業の中期方針検討及び広域連携検討

2 工程表

	(1)会員要望収集	(2)青年部・女性部広域連携事業
事 前	▽要望等、項目の選定	
H29年度	▽巡回による会員の声収集、データベース化	▽近隣商工会との検討会開催
H30年度	▽会員の声収集継続、要望活用	▽検討後の計画に沿った活動
H31年度	↓	↓
H32年度		
H33年度		

3 評価指標

事業者の要望等の収集企業数、新規加入会員数、広域連携事業数により評価。

項 目	現状値	目 標 値				
	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
1.事業者要望収集数	－	97件	99件	101件	103件	105件
2.新規会員加入者数	2件	2件	2件	2件	2件	2件
3.青年部・女性部広域連携事業数	－	1件	1件	1件	2件	2件

戦略4 機動的・効率的な商工会

1 取組内容

■ 施策7 行政と連携した森林資源活用による事業の促進【重点推進施策】

上小阿仁村は現在、「山林の100年整備計画」を策定中であり森林を利用した事業を推進する予定となっています。木材関連事業を営んでいる事業者が年々減少している中、本商工会はこの計画とタイアップする形で、森林資源を活用した新たな事業活動の促進を図り、林業に関わる事業者の創出や雇用促進に寄与します。また、村の農林産物である山菜、食用ほおずきやコハゼを利用した特産品の販路拡大支援を行います。

【主な取組】

- ◆ 森林資源を活用した新たな事業と雇用促進
- ◆ 農林産物を利用した特産品のブラッシュアップ及び販路拡大支援

2 工程表

	(1) 森林資源活用地域振興事業	(2) 特産品販路拡大支援
事前	▽行政との事前打合せ	▽道の駅等との新商品の確認
H29年度	▽行政、関係機関等との打合せ・計画策定	▽道の駅等と販路拡大手法について検討 ▽既存商品のブラッシュアップ
H30年度	▽森林資源活用地域振興事業の実行	▽販路拡大支援
H31年度	▽上記事業の継続実行	
H32年度	↓	
H33年度		↓

3 評価指標

森林活用振興事業実施回数、販路拡大支援企業数により評価。

項目	現状値	目標値				
	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
1.森林活用地域振興事業の実施回数	－	－	2件	2件	3件	3件
2.特産品販路拡大支援事業者数	2社	2社	5社	5社	5社	5社

戦略5 環境変化に強い商工会

1 取組内容

■施策8 中長期財政運営計画の策定【重点推進施策】

迅速かつ安定的な個社支援や事業実施の基盤となる健全な財務状態を将来にわたって維持するため財政委員会を設置し、会費賦課基準、手数料規程の見直しによる財政シミュレーションを行い、中長期財政運営計画の策定を実施します。

【主な取組】

- ◆財政委員会設置による財政シミュレーションの実施
- ◆中長期財政運営計画の策定

2 工程表

中長期財政運営計画の策定	
H29年度	▽財政委員会開催
H30年度	▽財政シミュレーションの実施・中長期財政運営計画策定
H31年度	▽中長期財政運営計画実施
H32年度	▽進捗管理と見直し
H33年度	↓

3 評価指標

見直しされた手数料の基準数と自己財源比率を評価指標とします。

項目	現状値	目標値				
	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
1.手数料基準の見直し数	—	—	—	—	1件	2件
2.自己財源比率	30%	32%	34%	36%	38%	40%